

たんぼぼ

第53号

平成10年10月 発行

兵庫東養父郡養父町堀畑八幡地の元
森 医 院
〒657-0101 電話0796-551023

昨年より医療費の患者自己負担額が倍増した。薬剤費の二重負担と長引く不況も手伝って病気になる人も受診を控えたり、慢性疾患(高血圧症糖尿病胃腸病心臓病高脂質血症など)の治療を中断する人があると聞く。この1年間で平均20〜30%受診患者が減少していると医者仲間でも話題になっている。バブルのころ銀行・証券会社は湯水のごとく金を使い価値のない土地や絵画を買いあさり、又自分たちは高給を貪り、官僚・総会屋たちと二人三脚で甘い汁を吸い尽くした。こうして破綻した金融機関にいま10兆を超える公的資金(私たちの税金)がつぎ込まれようとしている。大震災で財産を

失った神戸の人々には公的支援がない一方で政治家への献金や官僚への接待をせせとせとしておけば金融破綻しても何万倍にもなってく戻ってくるこの現実。おりしも厚生省老人保健福祉局から「老人医療費の適正化対策」なる通知があった。内容はいつもと同じ年寄りいじめである。住民の健康を守るために配置されているはずの自治体の保健婦を使ってお金を抑制しようとしている。「あなたは診察を受ける回数が多いから減らしましょう」とか「受ける病院・診療所の数が多いから1箇所にしてください」とか「保健婦がきくても気にしないで言うてやりましょう。私たちも政治献金しなければ満足な医療さえ受けられない」と。

院長



コレステロールとは何か? シリーズ①



コレステロールは細胞膜の構成成分なので、体中に含まれています。おもしろいことに脳や脊髄に最も多く存在し、それは体中の総コレステロールの約1/4くらいにあたります。そのほか、肝臓などの内臓のほか、脂肪や筋肉にもかなり含まれます。肥満の人は、脂肪組織が多いので、その分、全体の総コレステロールの量も多いこととなります。副腎は小さい臓器ですが、含まれるコレステロール量は1〜2gとそれなりに多くはないのですが、コレステロールの濃度としては、ほかの場所の100倍も高いのが特徴です。また、動脈壁にも、コレステロールはかなりの量が含まれていますが、動脈硬化が進んだよりな動脈ではその量はふえています。血液中に含まれているコレステロールの量は通常10gくらいです。もちろん、コレステロール値が高いといわれている人は、血液中に含まれるコレステロールはもと多いこととなります。

よろしく
お願いします!!

5月より勤務していただき看護婦の西香寿美です。業務にも慣れてきましたが、先主やスタッフの方へ、患者さんにも迷惑をかけていることが多くあると思います。しかし、少しでも良い看護が提供できるように頑張りますので、何かあれば遠慮なく声をかけて下さいわ。



<テレホンサービス>

0796-55-0151

24時間いつでも開業医の手作り健康情報テープを流しています。

●10月のテーマ

- ① 伝染性紅斑(リンゴ病)について
- ② 寝たきりの方の口の中の手入れ
- ③ 膝に水がたまる
- ④ 誰でも使える在宅福祉事業
- ⑤ 金土日 滲出性中耳炎のはなし

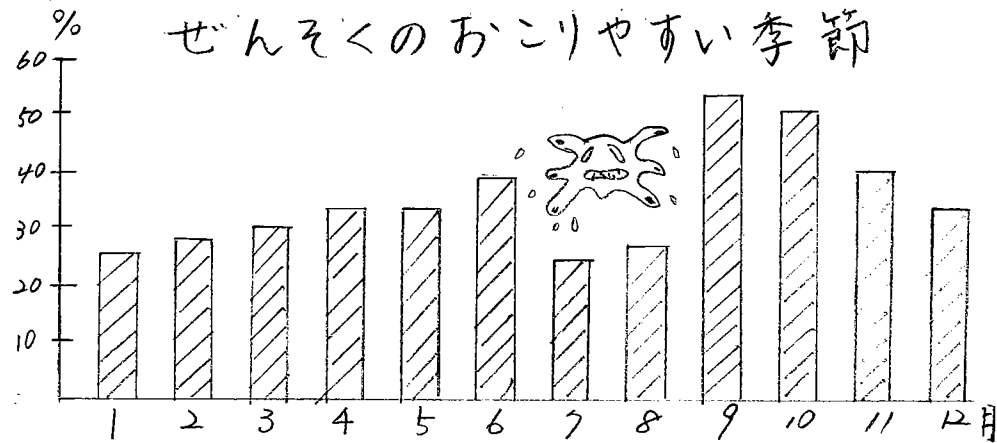
●11月のテーマ

- ① 带状疱疹とは
- ② 親知らずの周りの病巣-智歯歯周病
- ③ クモ膜下出血について
- ④ 増加しているドライアイ
- ⑤ 金土日 アスピリン喘息

◇◇ ぜんそく ◇◇

(ぜんそくの方は 晩夏から秋にかけて とくに発作に備えたい。)

ぜんそくの方は、自律神経の働きが弱いため気候の変化に敏感です。とくに夏の終わりから秋は発作のシーズン。



タニは最近ぜんそくのアレルゲンとして注目されているもので皮膚テストをおこなうとぜんそくの方の50%以上が陽性の反応を示すともいわれています。

タニやタニのフンや死骸など発生の際が9月・10月頃発作がおこりやすくなるという説があります。

一般にはこのシーズン気温や湿度、風などの気象条件が発作をおこしやすくとされています。

ぜんそくの方は自律神経の働きが弱く、なかなか気象条件に合わせて体を反応させることが苦手です。

そのため気管支が過敏になり、発作をおこしやすくなると考えられています。

ぜんそくの方には、台風が近づくと発作でわかるという人がいます。が気象条件も発作をおこす重要な誘因のひとつなのです。

薬の飲み方 シリーズ⑧

薬が重複しない様

今日では、一人の患者さんが二人以上の医師に診察を受けていることが多くなってきました。もし薬が重複してしまうと、他種類の薬を同時に服用することにより成分が重なったり相互に影響しあい医師の予想を越えた作用 副作用を発生させることがあります。これらの危険性は、場合によっては病気の症状を悪化させたり、あとあとの医師の治療を困難にさせることがあります。その為薬が重複しない様に診察を受けに行くときは薬をもって行くか、あるいは医師に聞いて薬の名前を書いてもらいましょう。当院のお薬の説明書は他の医療機関受診の際は持って行って下さい。薬局で買って服用している薬でも同じことです。



ふれあいボックス

わが主治医
アースの皆に絆(ほど)されて
郡境こゆるも此(こ)心(こ)が大好き

まごころの
診療賜ふ 医師に
芳(かほ)し言葉 申せぬつらさ

お知らせ

国民健康保険証が12月1日より新しくなります。月に一度保険証を確認しています。受付まで提出して下さい。70才以上の方は健康手帳を来院の都度持参して下さい。

編集後記

朝・夕肌寒くなり秋を感じる頃になりました。秋といえば、芸術、読書、スポーツ、食欲の秋と言われますが皆様ほどの秋でしょう。森医院はやはり〇〇でしょうか？ 今回のたんぽぽいかにいかがでしたか？ 次回平成11年1月発行です。おたのしみに!!

